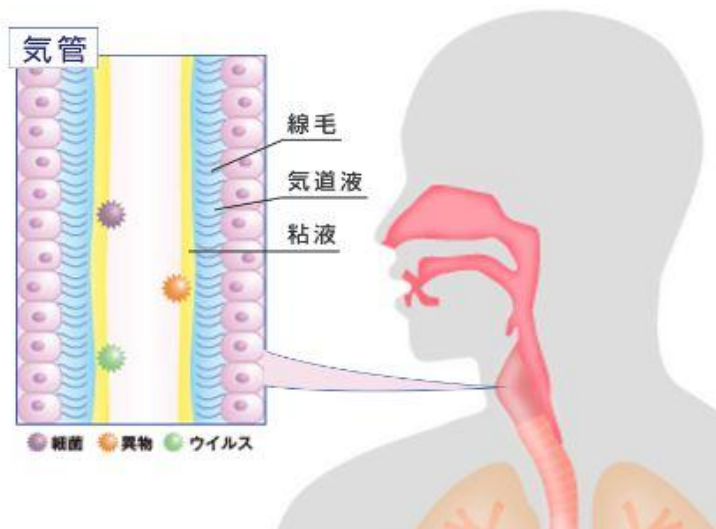


週刊 タバコの正体



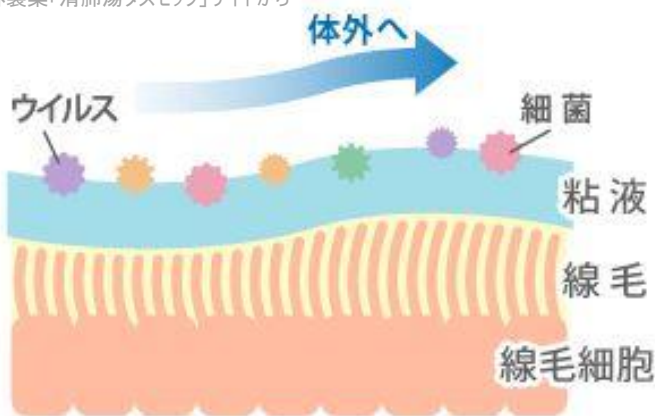
私たちが無意識のうちに吸い込み続ける空気には様々な物質が含まれています。人間の眼には無色透明にしか見えませんが、その中には人体に有害なものも含まれています。例えば顕微鏡でしか見ることができない小さな細菌やウイルスなどが含まれている事もあります。そんな事を知らずに吸い込んでしまうとどうなるのでしょうか。

じつは人体には、そんな事態に対応する仕組みがあります。左図にあるように、気管にある粘液と線毛が異物を体外に排出する働きをしています。粘液が取り込んだ異物を線毛がゆらゆら動いて口へと運び、咳や痰とともに体外へ排出するわけです。

ところが、タバコを吸うと下の写真のように、その有害な成分のせいで線毛がダメージを受け、部分的に脱毛してしまいます。すると異物を排出する働きが低下します。

つまり、タバコは細菌やウイルスが体内に侵入するのを助けてしまうのです。

小林製薬「清肺湯ダスマック」サイトから

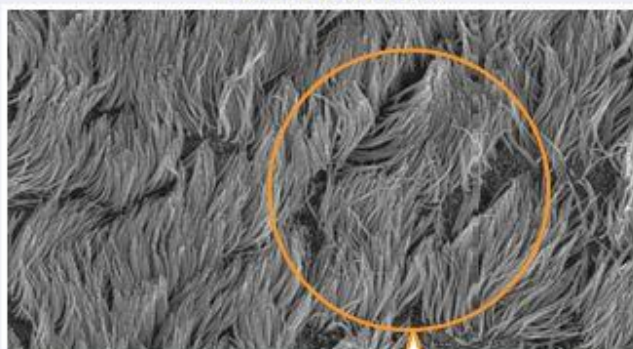


イメージ図

▲ 線毛が異物を除去する仕組み

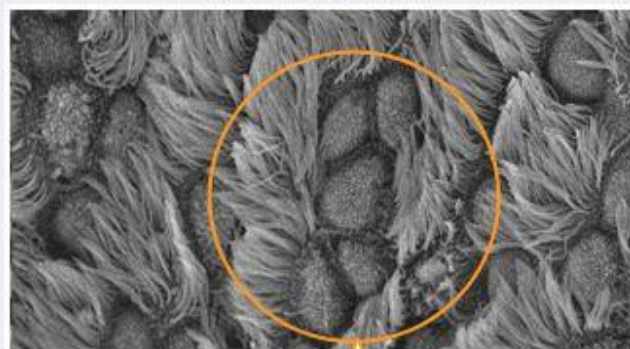
産業デザイン科 奥田 恭久

健康な 気管の内側



ふわふわの絨毯のように
線毛が生えている

タバコの煙を注入した 気管の内側



線毛が脱毛している